

研究課題名：	新生児の哺乳障害についての理学療法の研究
所属(診療科等)：	公立昭和病院 リハビリテーション科
研究責任者(職名)：	奥田 拓也 (主事)
研究期間：	2020年11月20日～2021年3月31日
研究目的と意義：	哺乳障害に対する哺乳能力評価方法や選択される理学療法アプローチに、理学療法士間でもばらつきがあり、そのアプローチ方法の標準化が必要であると考え。今回、個々の理学療法士の経験に左右されない「1回経口哺乳量増量基準」を作成した。この基準に従って哺乳量増量を行なった患者データを後方視的に検証し、アルゴリズムの汎用性を検討する。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 2018年10月1日から2020年9月30日の期間にNICUに入院し、哺乳理学療法介入を行なった患児20症例と理学療法士が介入を行なわなかった20症例の合計40症例を対象とする。全症例、出生時体重が2300g以下の児とする。</p> <p>●利用するカルテ情報 生年月日、性別、在胎週数、出生時体重、Apgar score。研究対象患児の医師が規定した日毎の栄養量、経口哺乳の開始時期、医師と理学療法士が相談して規定した日毎の1回経口哺乳量、看護師が計測する日毎の体重(生理的体重減少期間含む)、退院時修正在胎週数、理学療法評価記録・介入頻度、等。</p> <p>●研究方法 対象期間の電子カルテシステムによる理学療法処方オーダーおよび該当患児哺乳理学療法・看護経過をもとに、哺乳理学療法アルゴリズムを適応した際の入院経過を後方視的に解析して有効性を検討する。また、理学療法介入群・非介入群と2分類化し、理学療法介入の効果等も合わせて検討する。</p> <p>●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院</p>
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：奥田 拓也 (リハビリテーション科 理学療法士) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>